

＜松本ハウストークショー＞

平成 25 年 8 月に松本ハウスの共著による「統合失調症がやってきた」は発売されまして、トークショーは、本の内容をベースに構成されております。

その内容は、「統合失調症」の当事者である加賀谷と漫才の相方として、彼を一番そばで見てきた松本との体験談を淡々とふたりで話すトークショーという形を取ります。

加賀谷の体験内容に松本の側からの体験内容の補足や追加をしたりして作り上げていきます。

基本的にふたりは漫才師という立場から、話の伝え方に「笑い」をスパイスのように入れ観客により分かり易く、より近くという形で進行致します。

通常の公演時間につきまして、トークショーは約 50 分、その後質問コーナーを約 15～20 分設けておりますので、全体としては、65～70 分になります。また、ご要望においてはコントをトークショーの前に 5 分～10 分程度設けることもできます。

トークショーは加賀谷の病気発症から時系列的に進行していきます。

I) 「統合失調症」の発症

- ①加賀谷の中学時に発症し「幻聴」を聞く
- ②加賀谷の高校時に「幻視」を見る
- ③加賀谷がグループホームに入り、その体験

II) 「松本ハウスという居場所」

- ① 加賀谷と松本の出会いからコンビが誕生するまでの経過
- ② 「統合失調症」という精神疾患のカミングアウト
- ③ 病気への理解と偏見
- ④ 売れていく中での「病気」と「芸」の現場とのギリギリの戦い

III) 「入院生活」

- ① 初めての閉鎖病棟の体験
- ② 保護室でのエピソード
- ③ 主治医との治療体験

IV) 「復活に向かって」

- ① 解き放たれていく感情～新薬との出会い
- ② アルバイトへの挑戦
- ③ コンビ復活～新たなる芸の形を求めて
- ④ 寛解への日々の自己管理とその努力